

6. 目標値の設定

- ◆最終の目標年次は、平成21年度から10年後の平成30年としているが、目標の達成状況の確認のため、中間年次として5年後の平成25年も設定している。
- ◆ただし、中間年次の目標値の設定が困難な評価指標については、目標値を設定しないこととする。

《地域間連絡を支援するための交通環境の形成、中心市街地の安全で快適な魅力ある移動空間を創出するための指標》

2つの戦略の共通の指標として、安全性と雪に着目し、「冬期における通勤・通学時間帯のバスの遅延時間」、「交通事故件数」、「道路除雪に関する苦情件数」、及び、「除雪活動団体数」を評価値として設定した。

《中心市街地の安全で快適な魅力ある移動空間を創出するための指標》

中心市街地の歩行者等に着目し、「中心市街地の歩行者数」、「横手駅東西歩行者・自転車通行量」を、また、魅力ある空間の創出に着目し、「横手駅周辺等でのイベント開催回数」を評価指標として設定した。

表-2 目標値一覧

評価項目	現況値	目標値	
		H25 (概ね5年後)	H30 (概ね10年後)
冬期における通勤・通学時間帯のバスの遅延時間	12分(H20)	10分以内	8分以内
交通事故件数	-	-	-
(県)御所野安田線	5件(H19)	減少	減少
(主)横手停車場線	4件(H19)	減少	減少
横手市全体	336件(H19)	300件	270件
道路除雪に関する苦情件数	523件(H19)	260件	150件
除雪活動団体数	308団体(H18)	318団体	328団体
中心市街地の歩行者数	8千人/12h(H19)	8千人/12h	8千人/12h
横手駅東西歩行者・自転車通行量	1,467人(H19)	1,500人(H23)	1,800人
横手駅周辺等でのイベント開催回数	-	12回/年	24回/年

7. 事業実施施策

《地域間連絡を支援するための交通戦略のスケジュールと事業主体》

施策目標	具体的な取組み	具体的な事業等	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	事業主体	
1地域間を連絡する放射環状道路網の構築	a)放射道路の強化	○(国)13号の整備促進	→											国	
		○(主)横手大森大内線の整備促進	→											県	
		○スマートICの設置検討	→											国・県・市・関連機関	
	b)半環状道路の強化	○(主)湯沢雄物川大曲線のクラック解消	→											県	
		c)交差点部の処理能力向上	○(国)13号との交差点部における混雑解消(石成交差点)	→											国
			○(国)13号との交差点部における混雑解消(御所野交差点、美砂石交差点)	→											国・県・市
2高齢者等も利用しやすい交通環境づくりのための公共交通機関のサービス水準の向上	a)バスの走行性向上のための取組み	○平座地域局、雄物川地域局周辺のバス路線のクラック解消	→											県・市・バス事業者	
		○(主)湯沢雄物川大曲線のクラック解消(再掲)	→											県	
		○バス路線の狭小区間の拡幅検討	→											県・市	
		○感応式信号・右折レーン等の導入検討	→											県・市・警察	
		○高齢者優待制度の強化検討	→											県・市・バス事業者	
	b)高齢者の視点に立ったサービスの提供	○代替交通の本格運行	→											県・市・バス事業者・関連機関	
		c)各地域間を連絡する交通手段(バス等)の利便性向上のための取組み	○バス停の多目的利用の検討	→											国・県・市・バス事業者
			○バス発着案内、遅延情報等の表示システムの導入検討	→											県・市・バス事業者
			○デマンド交通の導入検討	→											県・市・バス事業者・関連機関
		3冬期間でも安全で定期的な通行を確保するための対策の推進	a)冬期における渋滞要因の解消	○交差点部付近の舗装の凍結抑制対策・凍りどめ対策の導入検討	→										
○狭小幅員道路の待避所設置	→											県・市			
○道路に関する情報提供(路面状況等)の検討・実施や啓発活動(冬タイヤ装着)の実施	→											国・県・市・バス事業者・警察			
b)冬期における視界の確保	○気象激変時の除雪作業の効率化		→											国・県・市	
	○防雪柵の設置検討		→											国・県・市	
	○デリネーター等の設置検討		→											国・県・市	

凡例	
検討後実施、又は、検討後有効と判断した場合実施する事業	→ 実施
	→ ハード施策
	→ ソフト施策
実施年次が確定している事業	→ ハード施策
	→ ソフト施策

《中心市街地の安全で快適な魅力ある移動空間を創出するための交通戦略のスケジュールと事業主体》

施策目標	具体的な取組み	具体的な事業等	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	事業主体
1冬期でも安全・安心に走行できる車道空間の確保	a)中心市街地の円滑な交通を確保するための道路整備	○(都)中央線の整備	→											県・市
		○(都)八幡橋岸線の整備促進	→											県・市
2交通結節点の機能強化	b)中心市街地の冬期車道空間を確保するための除雪対策	○車道及び交差点部の除雪対策強化	→											県・市
		○公共交通機関相互間等の乗継ぎ機能強化	→											市
3冬期でも安心して歩行できる空間の確保	a)中心市街地の交流促進のための歩行空間の整備	○横手駅東西自由通路の整備	→											市
		○富士見大橋地下道のリニューアル	→											市
	b)中心市街地の冬期歩行空間を確保するための除雪対策	○横断歩道付近の除雪対策強化検討	→											県・市
		○歩道へのロードヒーティング設置	→											県・市
		○主要なバス停付近へのロードヒーティングの設置	→											県・市
		○バス待合所へのスコップ設置検討	→											県・市・バス事業者
4高齢者等が移動しやすい空間の整備	a)公共交通施設のバリアフリー化の推進	○流雪溝の機能維持のためのボランティア等による除雪力の向上	→											県・市・ボランティア団体
		○横手駅舎のバリアフリー化	→											市・鉄道事業者
○バスターミナルのバリアフリー化		→											県・市・バス事業者	
5歩いて楽しむことができる空間の整備	a)賑わいのある空間の整備	○駅前広場のバリアフリー化	→											市
		○横手駅西口駅前広場の整備(再掲)	→											市
		○横手駅東口駅前交流広場の整備	→											市
		○灯りロード(大町三枚橋線、寿町上横山線、駅前町1号線)	→											市
		○四日町ポケットパークの整備	→											市
6自転車利用の環境整備	a)他の交通手段との連携	○地域交流センターの整備	→											市
		○JR横手駅西口への駐輪場整備	→											市
		○JR横手駅東口駐輪場の利用促進	→											市

凡例	
検討後実施、又は、検討後有効と判断した場合実施する事業	→ 実施
	→ ハード施策
	→ ソフト施策
実施年次が確定している事業	→ ハード施策
	→ ソフト施策

8. 管理・運営体制の仕組みと体制の構築

